

# 川崎町の資源をいかす会 事務局だより

NPO法人 川崎町の資源をいかす会

第50号 (令和3年1月発行 不定期)

## 令和3年の年頭にあたり

特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会  
理事長 齋藤勝廣

新年を迎え、会員の皆様におかれましては慶賀のひと時をお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より、「川崎町の資源をいかす会」の活動にご支援いただき厚く御礼申し上げます。

昨年2月から続いています新型コロナウイルスの影響で会の活動もかなり制限されており、年度当初予定していた通りの活動ができない状態が続いています。一部、活動内容を限定して出来るところから徐々に再開している活動もありますが、川崎町でもポツポツ感染者が出ており、今後も様子を見ながら、より一層、三密に気を付けて進めてまいりたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。『食料とエネルギーの100%自給』に向けて、20年前に掲げた理念を忘れずに、令和の時代にも輝き続けましょう。

お金が全て

便利なものがすべて

便利さをもたらすものだけにお金を使う

という価値観を少し反省し

川崎町の自然と資源を活かし、かつ守り・・・

感謝の気持ちを抱きつづけて

楽しく豊かな暮らしをみんなで築きましょう

令和3年が、コロナに負けず「いかす会」と会員の皆様にとって、より良い年となりますよう心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## ミニ水力発電グループの活動

令和元年5月19日の「川崎町北原第二発電所」お披露目以来、発電システムは共同研究者のJASFA（一般社団法人持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会）さんと、試行錯誤を繰り返しつつ調整を続け、いまは、安定した運転ができています。用水路の水位によって出力は変動しますが、150W～200Wの発電を続けています。

12月3日に恒例のイルミネーションを取り付け、点灯を始めましたが、この冬は厳しい寒波に見舞われ、雪も多く、氷結によりスムーズな運転ができなくなって、ついに運転休止に追い込まれています。



イルミネーション 夕方3時から8時まで点灯（現在休止中）

※すべて休止中【気温が少し緩んだら再点灯始めます】

## 原木キノコ（ナメコ）植菌体験のご案内

12月の椎茸の植菌体験に続き、次回はナメコの植菌体験を実施します。

日 時 令和3年2月6日（土）  
午前9時30分～12時頃  
集合場所 腹帯集会所：川崎町大字前川字松葉森山  
参加費 大人：一人につき 1,600円  
（植菌済みの原木2本持ち帰り）  
地域通貨（旧4キモチ）可  
子供：一人につき 800円  
（植菌済みの原木1本持ち帰り）  
定 員 20名（定員に達したら締め切り）



（但し、参加者が10名に満たない場合は中止することもあります。）

申込み・問い合わせ先 特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会（後段 連絡先欄参照）

原木準備の都合がありますので、お申し込みは、氏名、連絡先、人数（大人〇人、子供〇人）を明記してください。なお、申込期限は1月29日（金）です。

## 薪ストーブの会 例会及び作業活動のご案内

1月 定例会休み、作業の日：6日（水）16日（土）27日（水）

2月 定例会：14日（日）、作業の日：3日（水）20（土）24日（水）

3月 定例会：14日（日）、作業の日：3日（水）20（土）24日（水）

気象状態により中止や変更もありますのでメール（LJC）で確認してください。

\* 集合場所：定例会は腹帯集会所、B作業は活動現地に直接、9時30分までに集合してください。

\* 参加する場合は、当日参加できなくなっても構いませんので必ず事前に連絡くださるようお願いいたします。



## 農産部会 手前味噌づくり活動

農産部会では無農薬で栽培した大豆（みやぎしろめ）を使って、恒例の味噌づくりを開催しておりますが、今年は新型コロナウイルス感染防止を踏まえて、集団での手前味噌づくりは中止いたします。ただし、手前味噌自体を希望する方は個別に対応いたしますので、ご連絡してください。（締め切り1月22日）



## 川崎町での里山暮らしを振り返り

日曜夜の人気番組「ポツンと一軒家」が面白い。衛星写真から人里離れた一軒家を見つけ、険しい山道に分け入って住民に会いに行く。そこで語られる波乱に満ちた半生と、老いてなお前向きな生き方が見受けられる。不便であっても満ち足りて暮らすことの幸福感に視聴者はあこがれるのかもしれない。昔は「山上がり」という習慣があったそうだ。群馬の山あい上野村に暮らす哲学者内山節さんが書いている。村人が経済的に困窮すると森へ入って小屋を作り、自給自足で1年を過ごす。その間、働ける家族が出稼ぎに行き借金を返し、一家は村の暮らしを取り戻す。人々が火をおこし、木の実を食す知恵と技を心得ていた時代は、山に上がれば1年や2年、お金がなくても暮らしていける気楽さがあった。それが地域に生きる安心感だったのではないか。地方の消滅が叫ばれ、政府が「地方創生」を掲げて6年がたつ。本当に地に足をつけた取り組みなのだろうか。どの地域でも雇用、移住、子育て…どこも判で押したような対策が目白押しであるが、住民の安心につながる成果を出せただろうか。自分の住んでいる川崎町の地域の未来を重ねながら、今日も田畑や山を駆け巡っている。そして今は薪ストーブが活躍してくれている。木を燃やすのだから当たり前だが想像する以上に暖かい。それはある時はぼうぼうと、ある時は

ちろちろと燃える炎が見えるからだ。薪の燃える匂いも暖かさの源になる。針葉樹の燃える匂いはかすかに脂が焦げる匂いが交じる。それに対して広葉樹のサクラやカエデ、ナラの燃える匂いは生活の匂いでなく、力のある野生のにおいである。薪を焚くと部屋の洗濯物は乾くし、とろとろ優しく燃えて、料理の鍋の肉や野菜でもじっくり柔らかくしてくれ、旨みを引き出してくれる。今日も薪ストーブは洗濯物と鍋と家族の期待をのせて、家の真ん中で真面目に働いている。



## 青根温泉雪明りの中止のお知らせ

例年、青根温泉で開催されていた『青根温泉雪明り』は、新型コロナウイルスの影響で、今年は中止となることが分かりました。

いかす会では毎年、バケツに雪を詰めて固める作業や、チェーンソーで穴をあけ雪灯籠を作る作業のお手伝いを続けてきましたが、今年はお休みとなります。

また次回要請があった場合はご協力いただけます様、よろしくお願いいたします。



## 事務局からのお願い

メール利用できる会員で、事務局からメールでの案内が届いてない方や、川崎ー仙台薪ストーブの会のメンバーリスト「ランバージャック」で情報交換を希望される方は、事務局までお知らせください。また、メールアドレスの変更があった場合もお知らせください。

経費削減・資源削減のため、事務局も電子化を推進しています。 会報もホームページに掲載することを基本としますので、郵送不要の方はお知らせください。 皆様のご協力よろしく申し上げます。

連絡先 〒989-1501 柴田郡川崎町大字前川字六方山3-225

特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会

電話&FAX 0224-87-2270

Email : [k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp](mailto:k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp) ホームページ <https://www.kawasaki-shigen.jp>